

**「 “あゆみ” の評価の観点」**  
子どもたちに求められる学校生活で身につけさせたい力

本年度より、新学習指導要領による教育が本格的にスタートしました。国際化が進み、AI等情報技術の進歩で、これまで人間にしかできないと思われていた仕事がロボットなどの機械に代わられる時代が今後10年から20年程度でやってくると予想されています。新学習指導要領では、大きく変わっていく世の中に対応するために、子どもたちに身につけさせたい「資質や能力(何を学ぶか)」を整理し、指導方法(どのように学ぶか)を工夫して、一人一人の「生きる力」を育みます。

新学習指導要領では、3つの柱が重要視されます。その柱に伴って「あゆみ」の評価の観点も見直されています。

[学校教育の中で身につけさせたい力]

**知識・技能** 何を理解しているか・何ができるか

- ・ 一問一答形式で測るような単純な知識だけでなく、他の教科の知識とも結びつけて活用できるような知識も重視します。深い理解を試す文章題も含みます。
- ・ テスト、実験 等

**思考力・判断力・表現力等** 理解していること、できることをどう使うか

- ・ 各教科の課題や問題に向き合って解決していく能力や、友だちと協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力を育てます。
- ・ ペアやグループでの話し合い、ワークシートやまとめ新聞など

**主体的に学習に取り組む態度** 学びに向かう力

- ・ 各教科の内容を理解するために、児童が「いかに知識を習得するために試行錯誤しているか、工夫して覚えようとしているか」という部分を評価します。
- ・ 仲間と協力する力や優しさや思いやりなど、豊かな人間性のベースとなる資質も涵養します。

□ **七夕集会 7月6日(月)**

新型コロナウイルス感染防止対応として、3密を避ける「七夕集会」を工夫して開きました。6年生が、「七夕伝説」にちなんだ劇を披露し会場が笑顔に包まれました。最後に、一人一人の願いごとが書かれた短冊を背景に学級写真を撮りました。

児童会活動を通して、仲間と協力する力や、優しさや思いやりなどを育てています。



□ **スクールサポートスタッフさん来校**

8月3日(月)から新型コロナウイルス感染防止対策のための消毒作業等にスクールサポートスタッフさんがたつの市より配置されました。従来、教職員で対応していた消毒作業やトイレの掃除などを毎日していただき、先生が子どもたちと向き合える時間が増え助かっています。



□ **令和2年度「人権文化をすすめる市民運動」**

